**第３学年 国語科　本時の学習指導略案**

〈研究テーマ〉言葉による見方・考え方をはたらかせた深い学びの実現

―　国語科における一人ひとりの学びに向かう力のみとりを通して ―

日時　令和３年７月１9日（金）

琉球大学教育学部附属中学校

授業者　仲原英孝

**１　単元名　伝統文化を受け継ぐ** 「古の知恵から学ぶ～みんなの悩み相談室～」

**学習材**「論語」 （東京書籍P.144～148）

**２　単元で育成したい資質・能力**

・長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使うことができる。

***〔知識及び技能〕（３）イ***

・表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫することができる。　　　　　　　　　　　***〔思考力，判断力，表現力等〕Ｂ（１）ウ***

・読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとしている。

***〔学びに向かう力、人間性等〕***

**３　生徒の実態**

　　事前に行った「みんなの悩みに関するアンケート」では、全体の６割の生徒が「成績や勉強方法について」の悩みを抱えていた。この悩みは本校に限らず、多くの中学生が抱えているものではないだろうか。次いで、「仕事や将来の生き方について（31.5％）」といった悩みや「本当の自分や理想の自分にについて(8.4％)」といった悩みもあげられた。進路決定や受験という人生の岐路に立つ生徒たちは多くの悩みを抱えている。ペア学習やグループ学習において互いに意見を述べあったり、相手の意見を踏まえて自分の考えを形成したりすることは日ごろから経験している。漢文学習に対しては「漢文（書き下し文）を読むのが難しい」「レ（返り点）の読み方を忘れてしまった」など「漢文を読むこと」への抵抗感がある。

**４　教材および単元の指導について**

「論語」は約2500年前の春秋時代の思想家孔子とその弟子たちの言行録である。戦乱に明け暮れる時代を「人のあるべき姿」＝「徳」によって治めることを目指し君主や有力家臣に説いて歩いた。そうした「人とはどうあるべきか」という真理にも似た問いの答えを希求し続けることが、現在でも「論語」が読み継がれる理由だろう。人生の岐路に立ち、自分とは何か、人間とは何かといった様々なことを考え、悩む時期の中学生がこの「論語」の言葉と出会うことで何かしらの答えや道筋を見つけることができるのではないだろうか。

本単元ではまず、訓読のきまりをおさえつつ、「論語」の内容に共感することで、漢文への抵抗感を払拭し、意欲的に読み取っていく姿勢を育てたい。論語に著されている内容にコメントを書く活動を通して、内容への理解を深めたい。そして「みんなの悩み」へ答える手紙を書く活動を通して、表現の仕方や適切な引用の仕方を考えながら、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫する力を身に付けさせたい。

**５　本時の授業構造 (既有知識と今後の見通し)**

|  |
| --- |
| 今後の見通し「今の思いをまとめよう　時を超える手紙」書くこと  既有知識 中学２年生「枕草子・徒然草」  表現の効果を考えて、自分の考えが伝わる文章になるように工夫して書く。  既有知識 中学２年「漢詩」　情景を描いた表現の効果について考える。  本時の内容  資料を適切に引用したりするなど、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫すること  既有知識 中学１年　「矛盾」  故事成語について調べ、体験や出来事を文章にまとめる。  今後の見通し  「場面に応じて話そう　条件スピーチ」話すこと聞くこと |

**６　本時のねらい**

「みんなの悩み」に答える手紙を書く活動を通して、漢文を身近なものと捉え、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫して書こうとする姿勢が見られる。

**７　本時のみどころ**

　　論語のことばと自己の体験を重ね合わせ、「みんなの悩み」に答えようとすることで、論語をより身近な存在と捉えることができる。また、悩みに答えようとすることで自分の考えが分かりやすく伝わる文章に工夫する（自己調整する）姿が見られる。

**８　本時の学習活動　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（第４時／全６時間計画）**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 分 | 学習の流れと生徒の活動・思考を誘う発問 | 生徒の姿  【評価の視点】 |
| 00  (１)  １  (9)  10  (10)  20  (20)  40  (9)  49  (1) | **１．本時の目標を確認する。**  「みんなの悩みに答えよう」  　論語のことばを引用し、「みんなの悩み」に答えよう。    **２．「みんなの悩み」一覧から、答える悩みを決定する。**  引用する論語のことばと、自身の経験を踏まえながら悩みを決定する。  **３．「みんなの悩み」に答える手紙の構成を考える。**  例文を参考にしながら、構成を考える。  **４． 考えた構成に沿って「みんなの悩みに答える手紙」を書く。**  　「引用することば」、「自分の体験」、「相手へのメッセージ」を手紙にしたためる。    **５．自己評価、今日の学習のふりかえり、OPPシートを記入する。**  　本時の学習を通して、生徒がわかったことや疑問についてまとめる。  **６．次時予告**  次回の学習内容を確認し、手紙の内容を共有し、アドバイスしあうことを知らせる。 | ◯これまでの学習のWSを見ながら「みんなの悩み一覧」を見ている。  〇何を伝えたいか(伝えたいことの要旨)、それを分かりやすく伝えるためにはどのような構成がよいか、考えている。  ★言葉にこだわり、論語のことばと自分の体験を結び付け、「みんなの悩み」に答えようとしている。  〇わかったことやできたこと、疑問に思った事をまとめようとしている。 |

**９　期待する解（目指す生徒の姿）**

　自ら選んだ「みんなの悩み」に答えるために「論語」のことばを読み、自身の体験と結び付けることで漢文を生活に生かそうとする。また悩みに答える形式によって、自分の考えがより分かりやすく伝わるように文章を工夫して書いている。